

健康教養向上へ一丸

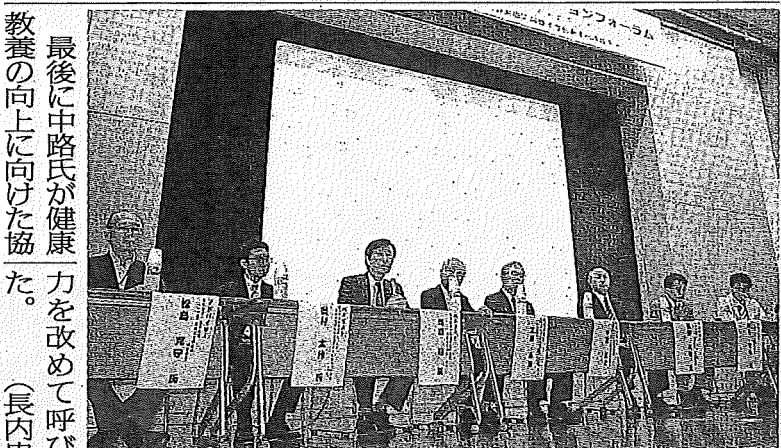
都内でフォーラム 弘大の取り組み紹介

「岩木健康増進プロジェクト」など健康寿命の延伸を目指す弘前大学の事業をテーマにしたフォーラムが3日、東京都内で開かれた。弘大や連携する大学、企業の関係者が社会の健康教養（ヘルスリテラシー）向上に向けた取り組みの輪をさらに広げていくことを確認した。

弘大は、文部科学省などの研究開発支援事業「革新的イノベーション創出プログラム（COI-STRIDE AM）」の採択を受け、同プロジェクトのビッグデータなどを活用し、脳卒中や認知症の予兆発見や予防法開発に取り組んでいる。

その成果を広く知ってもらうため、弘大と短命県返上を目指す県が主催し、企業関係者や研究者、一般市民ら約600人（主催者発表）が来場した。

弘大の取り組みを先導する中路重之同大学院医学研究科長（弘大COI研究推進機構副機構長）が基調講演し、同プロジェクトの



最後に中路氏が健康力を改めて呼び掛け、教養の向上に向けた協力を確認した。 (長内忠光)

健康教養の向上に向けた取り組みの輪を広げることを確認したフォーラム